



目指せ！ 平成維新

今開会中
とですが。

の通常国会
の会期は6
月22日まで
なんです
表向きの理由は、官邸の復興構想会議が報告を出すのが6月末になる、それを受けて政府の復興計画を作り、そのための第二次補正予算案を国会に提出できるのが、早くて

ゴールデンウィークの連休も明けて、国会も今週から本格的に始動しました。さあ、いよいよこれから被災地の復旧、復興のために政治の出番だという時に、またまた、とんでもない発言が飛びだしましたね。民

主党の安住国対委員長が発言です。

が、なんと、その日で国会を閉会するって言うんですね。誰が考えても今の政治は問題山積

思惑は「菅降ろし」封じ

内閣不信任案の提出も阻止したいってこと。国会を延長でもしたら、そうした動きに時間的余裕を与えてしまふ。もしかしたら、民主党内の動きと野党が連携して倒閣に走るかもしれない。その火種をあらかじめ消しておこうという魂胆なんです。

とても会期どおり国会を閉めるなんて考えられないことなんです。その考えれば良いんだ、だから、この国会は予定どおり閉めるんだ、と一見もっともらしいことを言ってるんですね。

国会閉会？とんでもない

しかし、そんなことをまとも信じる国会議員なんて一人もいませんよ。要は、その背景にある菅政権の思惑は、国会を早めに閉めて、民主党内の「菅降ろし」の動きを封じたい、野党が目論んでいる

対策より政権の延命策。全く情けなくなりますね。被災地の皆さんが今なお悲惨な状況におかれているというのに、なぜ、国会議員だけが国会を閉めて休めるんですか！とんでもない！これから原発事故の徹底的な検証や賠償、既存の原発の安全性総点検、電力不足の解消や被災地の復旧・復興等々やることは山ほどあるんですから。とても休んでいる場合じゃありませんよ。

すっかり与野党が議論して前向きな提案を政府にしていく、必要な法律は通していく、これが当たり前の政治家の責務だと考えています。国会は絶対に閉めさせません！

WHO'S WHO

江田憲司（えだ・けんじ）1956年岡山県生まれ。東大法学部卒業。通産省入省。ハーバード大研究員、大臣秘書官等を経て橋本内閣の首相秘書官。中央省庁再編や財政再建、普天間・北方領土返還等に携わる。完全無所属で衆院議員を務め、09年8月にみんなの党を結党。幹事長に就任。現在3期目。

まあ、この期に及んで震災

め消しておこうという魂胆なんです。専門の特別委員会を設けて